

# 台湾夏期英語／中国語・台湾文化研修報告

教育学部 学校教育課程 1年（濱崎竣）

○派遣： 開南大学

○派遣期間： 2017年 8月 16日 ～ 2017年 8月 30日

○渡航時の学年： 1年次

○渡日前の手續について

・参加に至った経緯について：

英語を学ぶことが好きだから。台湾に行ったことがなかったから。  
また、費用が比較的安く、2週間という期間も長すぎずちょうどよいと思ったからです。

・渡航に関する手續について：

海外旅行保険に加入し、往復航空券は自分で購入しました。

・査証取得：

なし

★体験記：

台湾での2週間はあっという間でした。特に印象に残っていることは、台北101と夜市です。台北101では昼食で食べた小籠包が印象的で、特に最後に食べたあんこ入りの小籠包はとても美味しかったです。また台北101の展望台では台北周辺の素晴らしい景色を一望できました。夜市ではタクシーと電車を使って色々な街の夜市に出かけて、食べ歩きをしたり買い物をしたりして楽しみました。文化研修では、陶芸体験やパイナップルケーキ作りなど台湾ならではの体験もできました。台湾の食事は自分には少し合わなかったけど、チャーハンや紅茶などはとても美味しかったです。食事が口に合わなくてお腹をこわしたことや、昼食でpastaと思って注文したらメニュー表にはpasteと書いてあって、注文してから気づかずに30分くらいパスタが運ばれてくるのを待ったことなど、細かいトラブルはあったものの今思えばいい思い出です。2週間という短い研修だったけれど、大学のサポートに加え、仲間たちにも恵まれていい経験ができました。

○生活費：

渡航費：約40000円

研修費用：18000台湾元(約66000円)

寮費：0円

生活費：13000台湾元(約48000円)※土産代込み

○大学のサポート状況：

宮崎大学7人に開南大学の学生チューターさんが1人ついてくれて、困ったときは何でも助けてくださいました。他のチューターさんも皆さんとても優しく、サポートはとても良かったです。

## ～宮大生のための海外渡航～

### ○授業の様子：

自分は英語初級クラスを受講しました。先生はカナダ人でとてもフレンドリーな方でした。授業はすべて英語で最初は戸惑ったけど、先生は英語をゆっくり話したり簡単な英語で話したり工夫してくださったので、徐々に理解できるようになりました。授業が始まると、いつも最初は先生の話聞くのがメインで、後半は英語を使った色々なゲームをしました。研修の最後の日にある成果発表に向けて、最後の3回くらいの授業は歌やダンスの練習をしました。

### ○他の留学生たちの様子：

全部で70人くらい参加していて、日本の私立、国公立問わず多くの学生が参加していました。

### ○現地学生との交流：

同じ班の人や、同じ部屋の人などと一緒にご飯を食べに行ったり、タクシーと電車を使って台北周辺の色々な夜市に行ったりしました。

### ○街の様子：

バイクがたくさん走っていて最初は怖いと思ったけれど、信号はきちんと守っていてカウントダウン式の信号も多くあり、特に危険な目には合わなかったです。大学周辺にはセブンイレブンとファミリーマートが3、4店舗あり、他にもピザ屋やステーキ店、麺屋、パン屋さんなどがありました。大学周辺は少し閑散としていますが、少し歩くと商店街があったり、大学からタクシーで20分ほどのところにある桃園駅はデパートやファストフード店などがあったり賑やかな場所もありました。

### ○その他

大学の寮は、寝るときに少し肌寒いので、寝袋を持って行ったほうが良いです。  
タクシーは黄色のタクシーに乗ったほうが良く、会社名が入っているとより安心です。  
トイレトイレットペーパーがあまりないので、持って行ったほうが良いです。  
洗濯ネットを持って行ったほうが良いです。

### ○今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ

持ち物(財布や携帯など)の管理をしっかり行うこと。  
団体行動の時は、集合時間やルールを守ること。

～宮大生のための海外渡航～



～宮大生のための海外渡航～

